

第3 福岡市林業の動向と現状

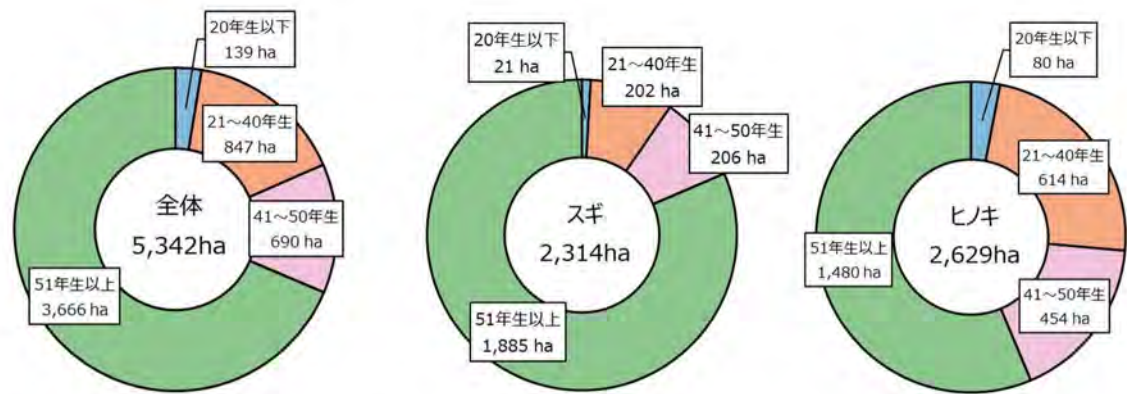
1 林業構造

[図表1] 森林面積

区 分		平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
所有別	総数	11,085	11,054	10,959	11,730
	国有林	2,597	2,587	2,541	2,543
	民有林	8,488	8,467	8,418	9,187
内訳	民有林	8,488	8,467	8,418	9,187
	人工林	5,368	5,365	5,371	5,342
	スギ	2,353	2,334	2,327	2,314
	ヒノキ	2,664	2,670	2,649	2,629
	その他	351	361	395	399
	天然林	2,031	2,067	2,111	2,194
	竹林	253	255	254	259
	無立木地その他	836	780	682	1,392

出典：「福岡地域森林計画書」（福岡県）

[図表2] 人工林樹種別林齢別面積（令和2年）



出典：「福岡地域森林計画書」（福岡県）

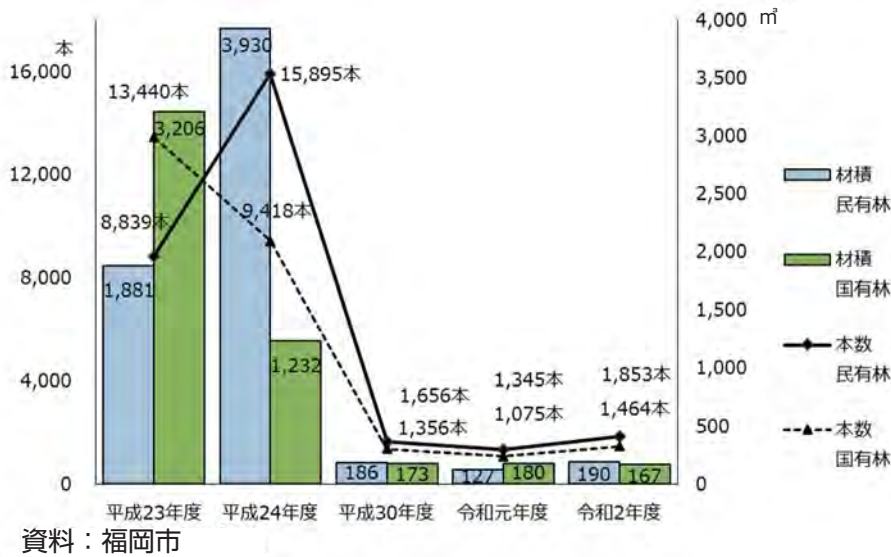
[図表3] 規模別山林所有者数（令和2年）個人分

区分	総数	1ha未満	1ha以上-5ha未満	5ha以上-10ha未満	10ha以上-50ha未満	50ha以上
所有者数（人）	5,469	4,453	910	85	21	—
割合（％）	100.0	81.4	16.6	1.6	0.4	—

出典：「福岡地域森林計画書」（福岡県）

2 森林病虫害による被害状況

[図表 4] 松くい虫被害



3 林道等整備の状況

[図表 5] 林道及び森林作業道等整備延長

(単位：km, m/ha)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
林道 (A)	104.8	105.7	106.0	108.2	109.1
森林作業道等 (B)	31.9	41.4	49.2	58.4	66.2
計 (A+B)	136.7	147.1	155.2	166.6	175.3
※路網密度	16.7	17.9	18.9	20.3	21.5

* 路網密度 (m/ha) = 林道と森林作業道等の合計/市内の森林計画対象民有林面積**
** 市内の森林計画対象民有林面積 平成 28～令和元年度：8,212ha、令和 2 年度：8,150ha
資料：福岡市

4 保安林の指定状況

[図表 6] 保安林の指定面積 (令和元年度)

(単位：ha)

総 数	内 容								
	国有林	民有林	水源かん養	土砂流出	土砂崩壊	飛 砂	風潮害	保 健	その他
		(274)		(0)	(0)	(13)	(1)	(259)	(0)
4,023	2,452	1,571	477	972	2	6	95	13	4

* () 書きは、兼種指定保安林であり、外数
* 国有林には林野庁所管外の国有林も含んでいる。
資料：福岡県

5 油山市民の森の状況

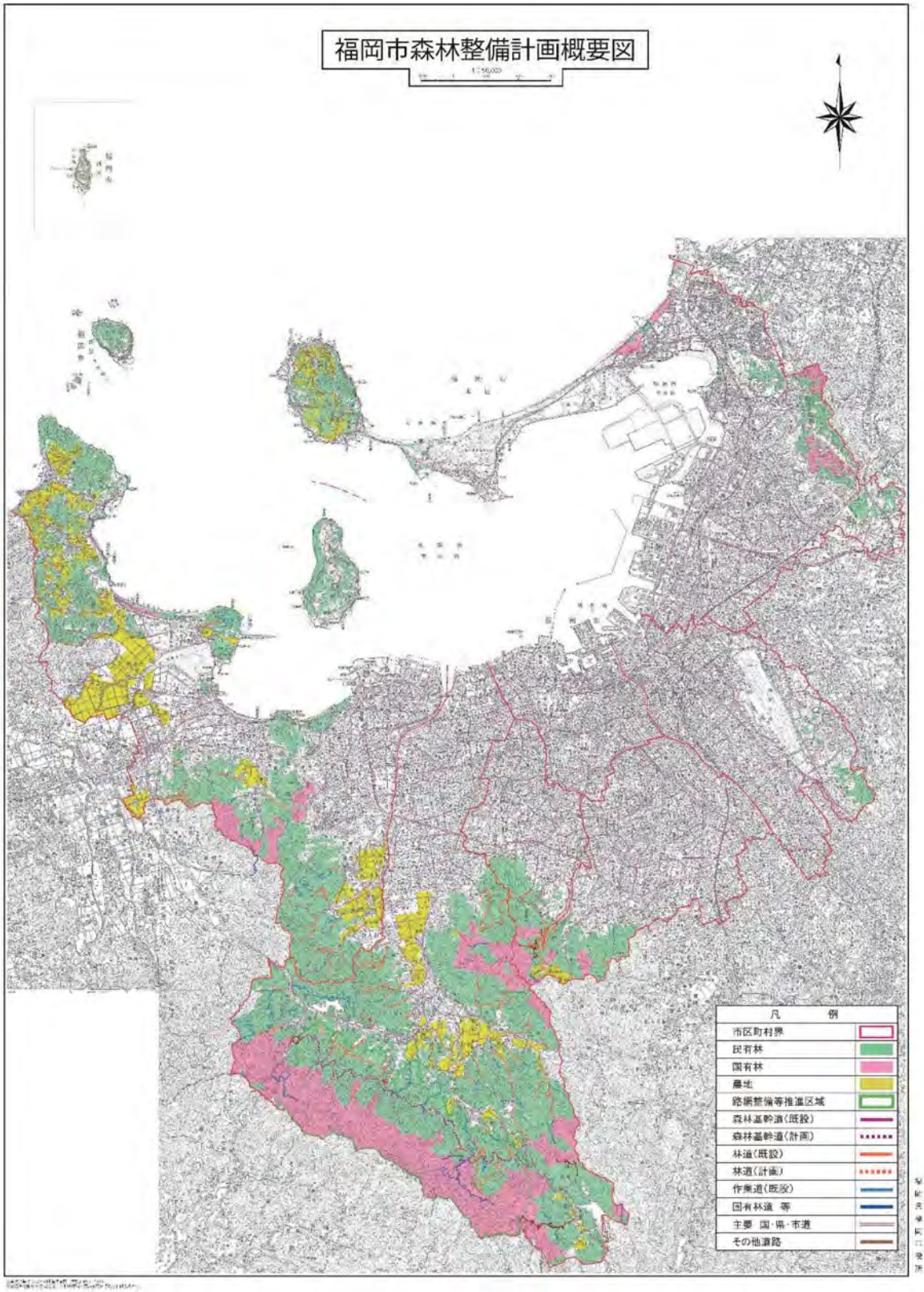
[図表 7] 油山市民の森利用者数

(単位：人)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
利用者数	171,700	178,400	173,500	183,000	204,923

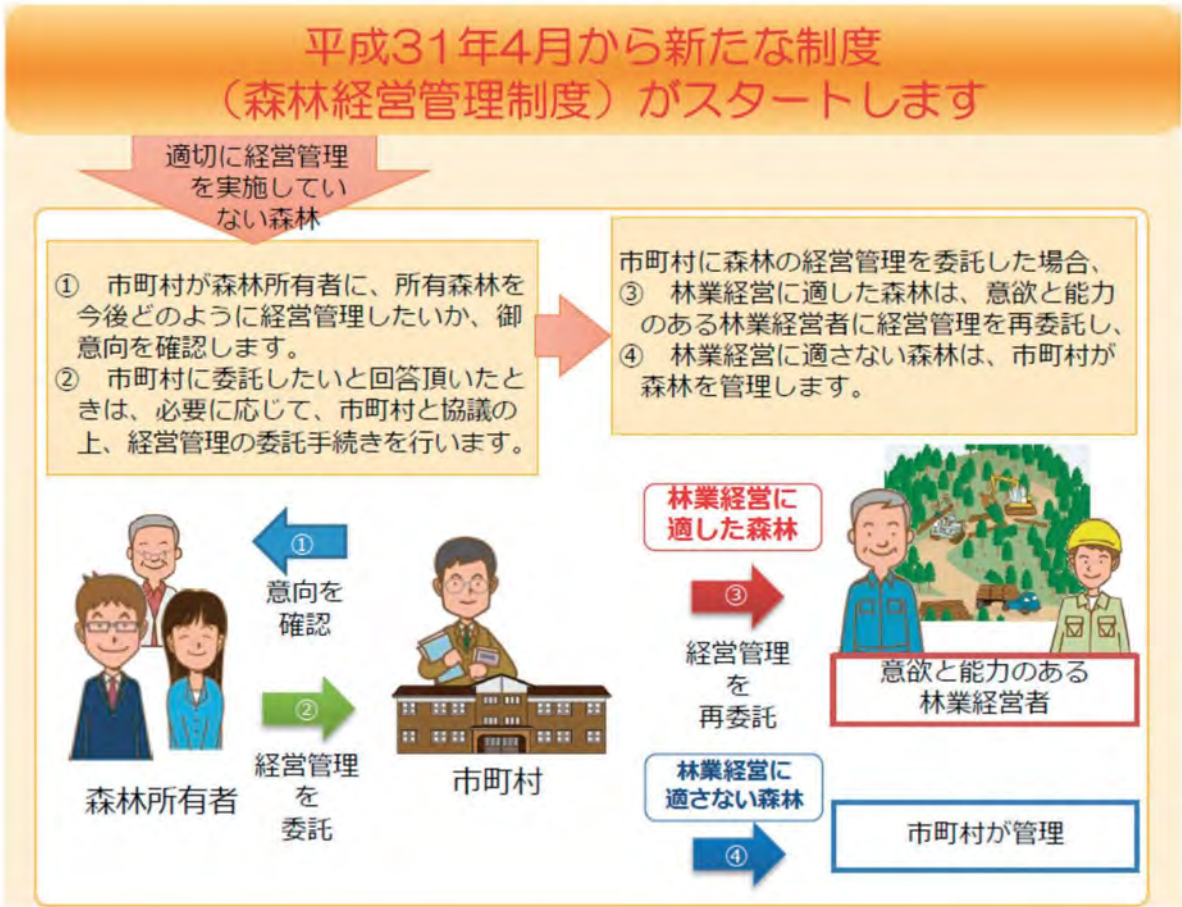
資料：福岡市

6 森林概要図

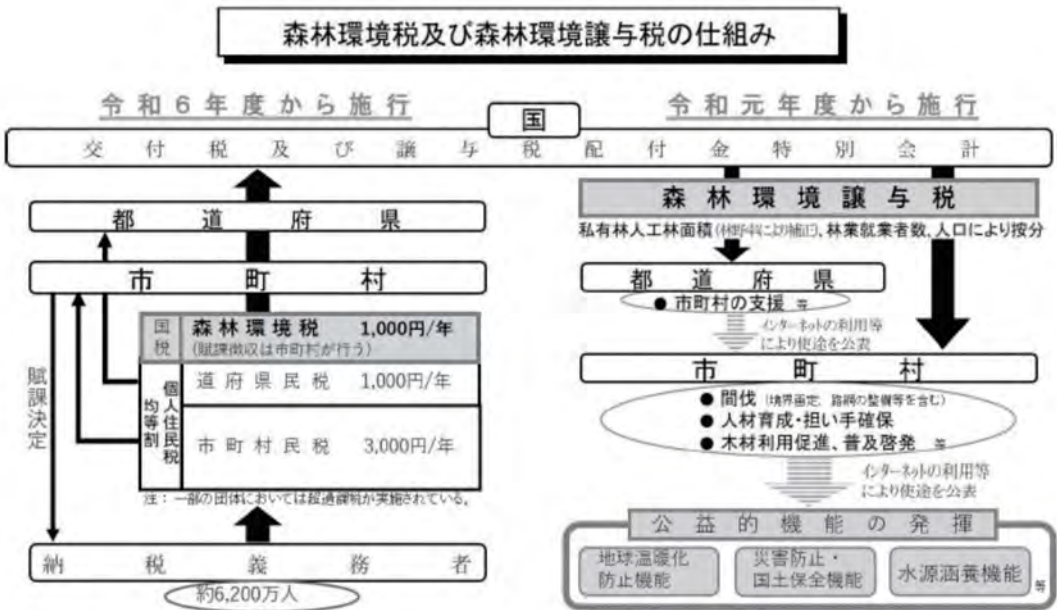


7 参考資料

[図表 8] 森林経営管理制度パンフレット（林野庁）



[図表 9] 森林環境税及び森林環境譲与税の仕組み（林野庁）



第4 市政に関する意識調査結果概要（令和2年度）

1 調査概要

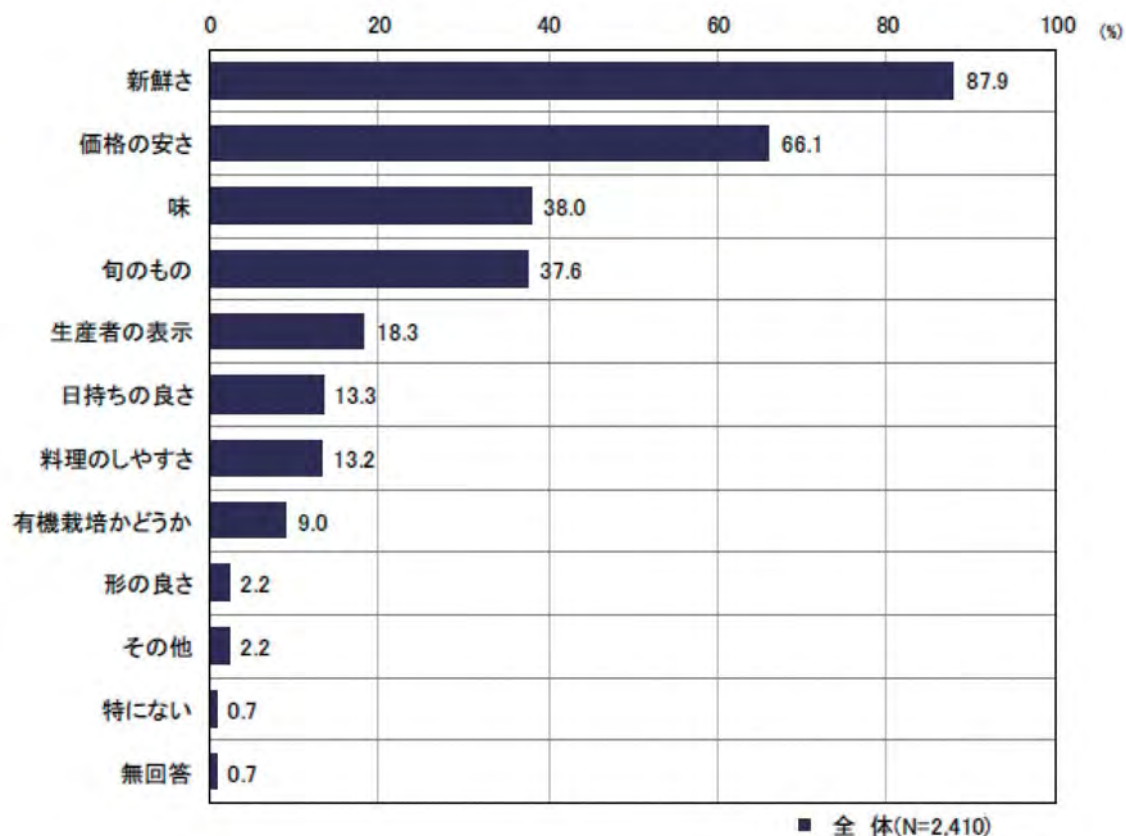
- (1) 調査地域：福岡市全域
- (2) 調査対象者 福岡市内に居住する満 18 歳以上の男女
- (3) 調査対象者数 4,500 サンプル（回収 2,410 サンプル、回収率 53.6%）

2 調査結果

農産物や農産加工品を購入するときに重視していること

問 1 あなたのご家庭では、農産物や農産加工品を購入するとき、どのようなことを重視していますか。特にあてはまるものを**3つまで**選び、番号に○をつけてください。

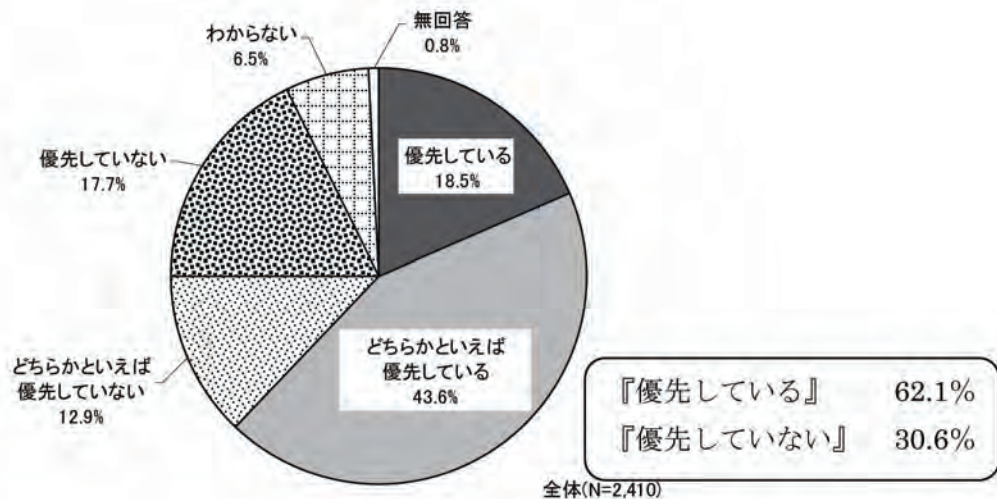
家庭で農産物や農産加工品を購入するとき、どのようなことを重視しているかを聞いたところ、「新鮮さ」が 87.9%と最も多く、次いで「価格の安さ」（66.1%）、「味」（38.0%）、「旬のもの」（37.6%）となっている。



国産の農産物や農産加工品購入するときの市内産優先意向

問2 あなたのご家庭では、国産の農産物や農産加工品を購入するとき、市内産を優先して購入していますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

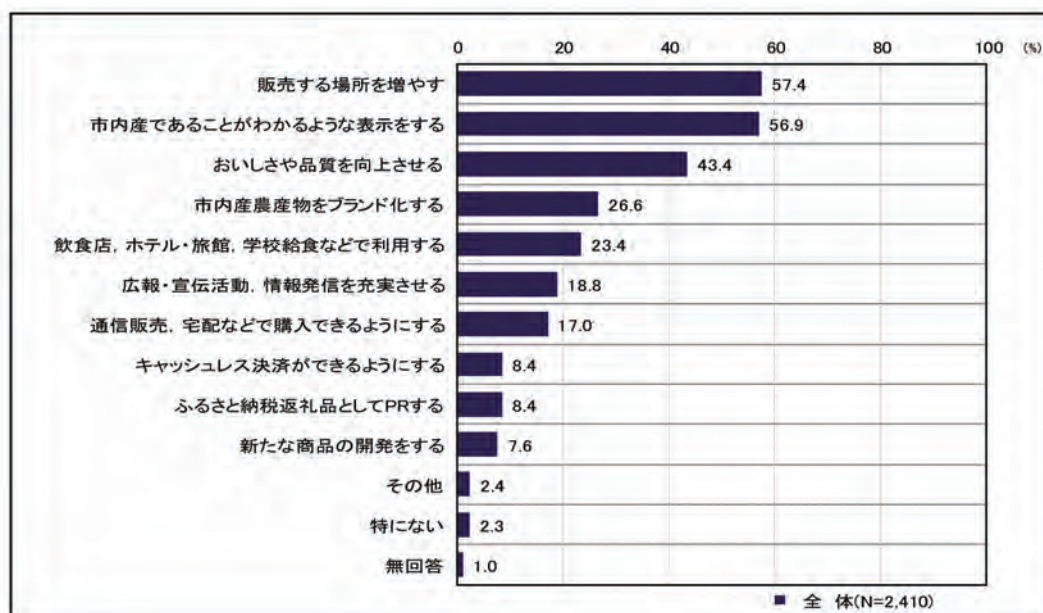
市内産を優先して購入しているかどうかを聞いたところ、『優先している』（＝「優先している」＋「どちらかといえば優先している」）の割合は62.1%となっている。一方、『優先していない』（＝「優先していない」＋「どちらかといえば優先していない」）の割合は30.6%となっている。



市内産農産物や農産加工品の販売を促進するために必要な取り組み

問3 あなたは、市内産農産物や農産加工品の販売を促進するために、どのような取り組みが必要だと思いますか。特にあてはまるものを3つまで選び、番号に○をつけてください。

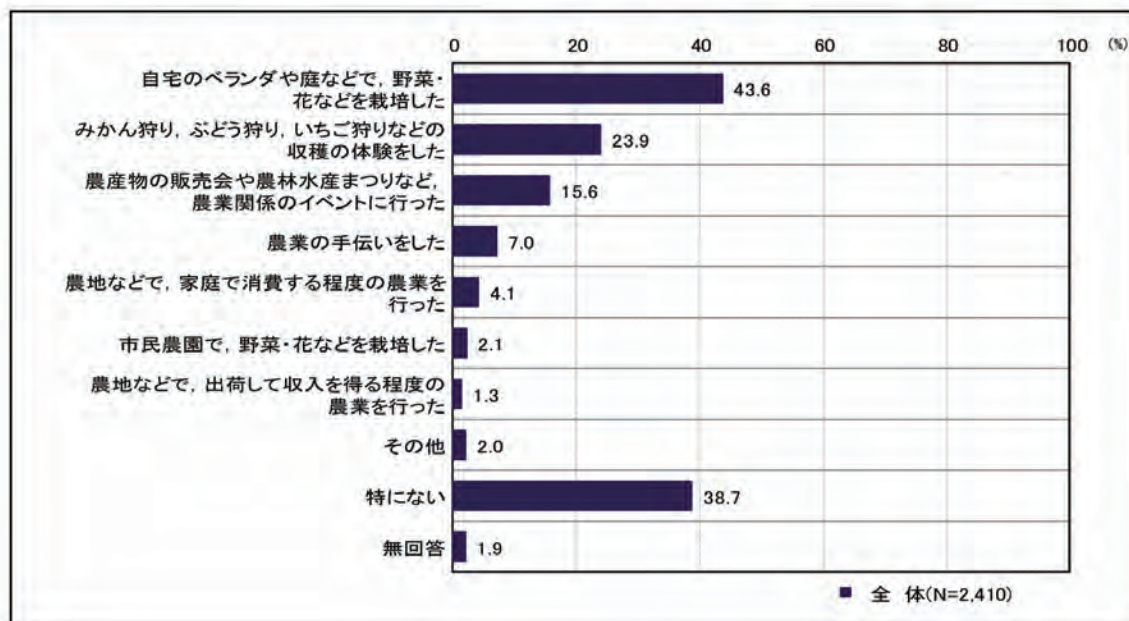
市内産農産物や農産加工品の販売を促進するために、必要な取り組みを聞いたところ、「販売する場所を増やす」が57.4%と最も多く、次いで「市内産であることがわかるような表示をする」(56.9%)、「おいしさや品質を向上させる」(43.4%)となっている。



農業と身近に接した経験

問4 あなたは、過去3年間に、農業と身近に接した経験がありますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○をつけてください。

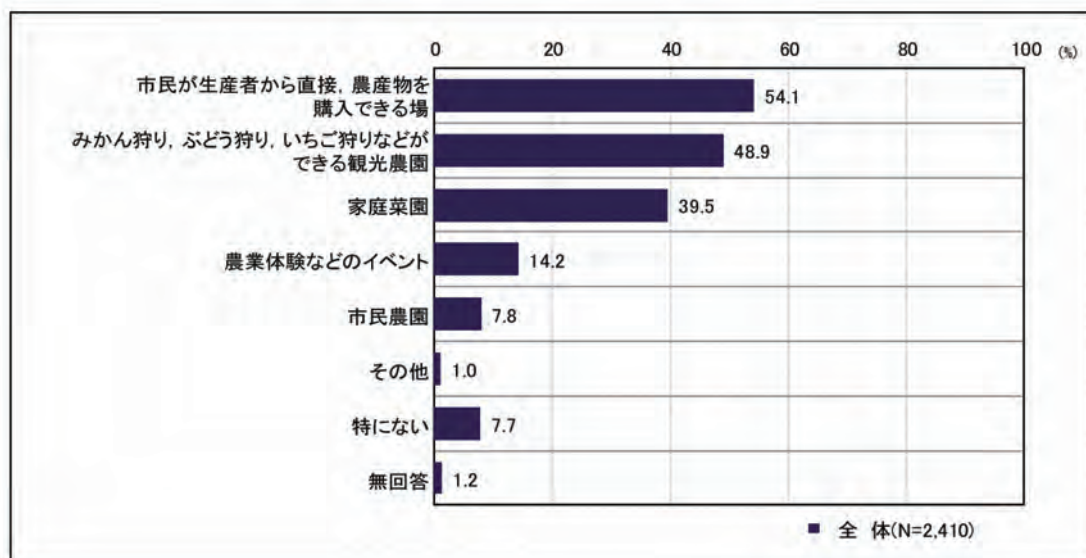
過去3年間に、農業と身近に接した経験について聞いたところ、「自宅のベランダや庭などで、野菜・花などを栽培した」が43.6%と最も多く、次いで「みかん狩り、ぶどう狩り、いちご狩りなどの収穫の体験をした」(23.9%)となっている。



農業に接する場として参加しやすいと思う場

問5 あなたが、農業に接する場として、参加しやすいと思うものはどのような場ですか。特にあてはまるものを2つまで選び、番号に○をつけてください。

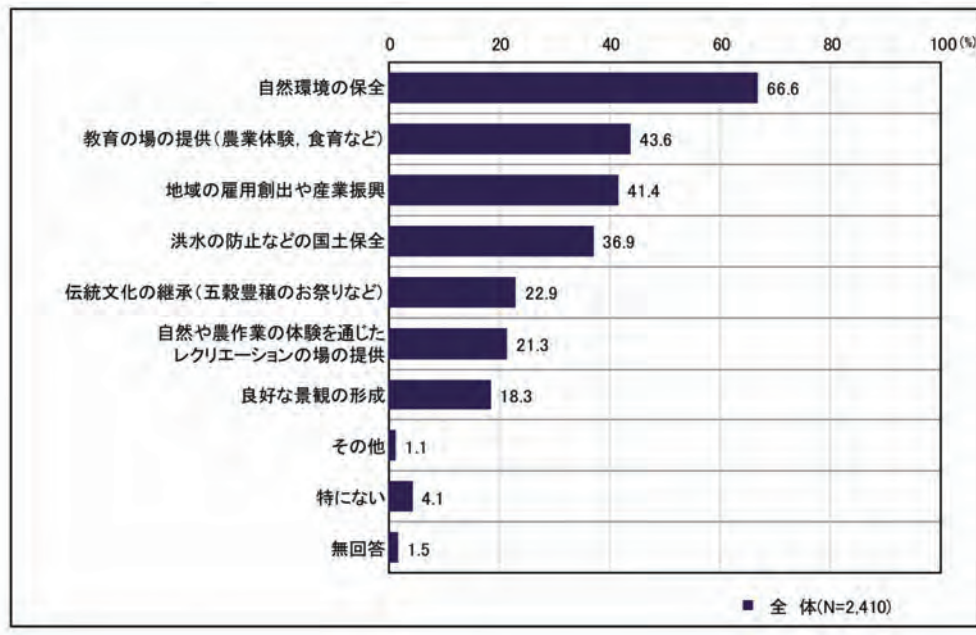
農業に接する場として、参加しやすいと思う場を聞いたところ、「市民が生産者から直接、農産物を購入できる場」が54.1%と最も多く、次いで「みかん狩り、ぶどう狩り、いちご狩りなどができる観光農園」(48.9%)、「家庭菜園」(39.5%)となっている。



食料の安定供給以外の農業の重要な役割

問 6 あなたは、農業の本来の役割である食料の安定供給のほかに、農業がもつ重要な役割はどのようなことだと思いますか。特にあてはまるものを3つまで選び、番号に○をつけてください。

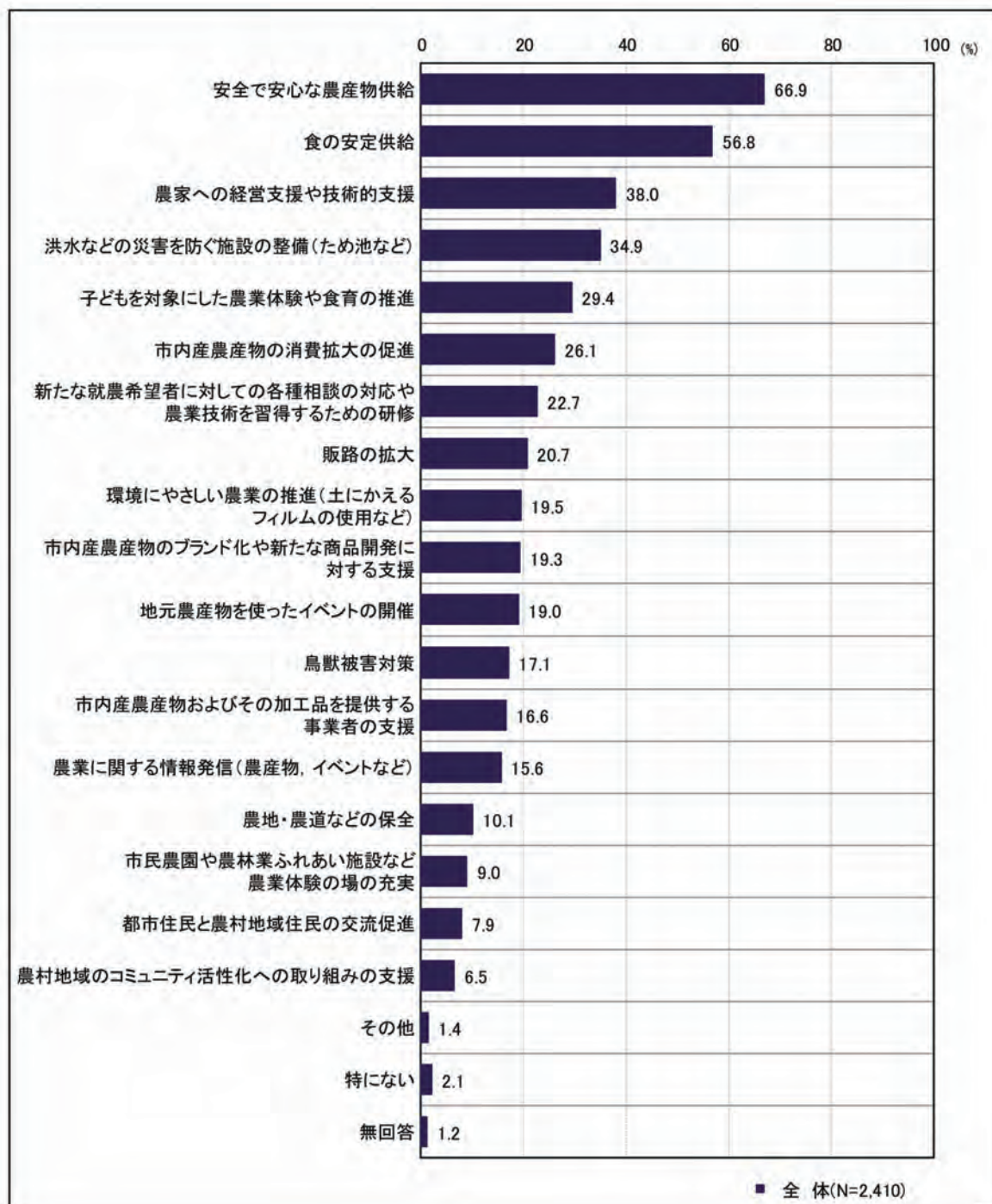
農業の本来の役割である食料の安定供給のほかに、農業がもつ重要な役割を聞いたところ、「自然環境の保全」が66.6%と最も多く、次いで「教育の場の提供（農業体験、食育など）」（43.6%）、「地域の雇用創出や産業振興」（41.4%）、「洪水の防止などの国土保全」（36.9%）となっている。



今後重点的に取り組むべき農業施策

問7 福岡市が、今後重点的に取り組むべき農業施策はどのようなことだと思いますか。
特にあてはまるものを5つまで選び、番号に○をつけてください。

福岡市が、今後重点的に取り組むべき農業施策を聞いたところ、「安全で安心な農産物供給」が66.9%と最も多く、次いで「食の安定供給」(56.8%)、「農家への経営支援や技術的支援」(38.0%)、「洪水などの災害を防ぐ施設の整備(ため池など)」(34.9%)となっている。

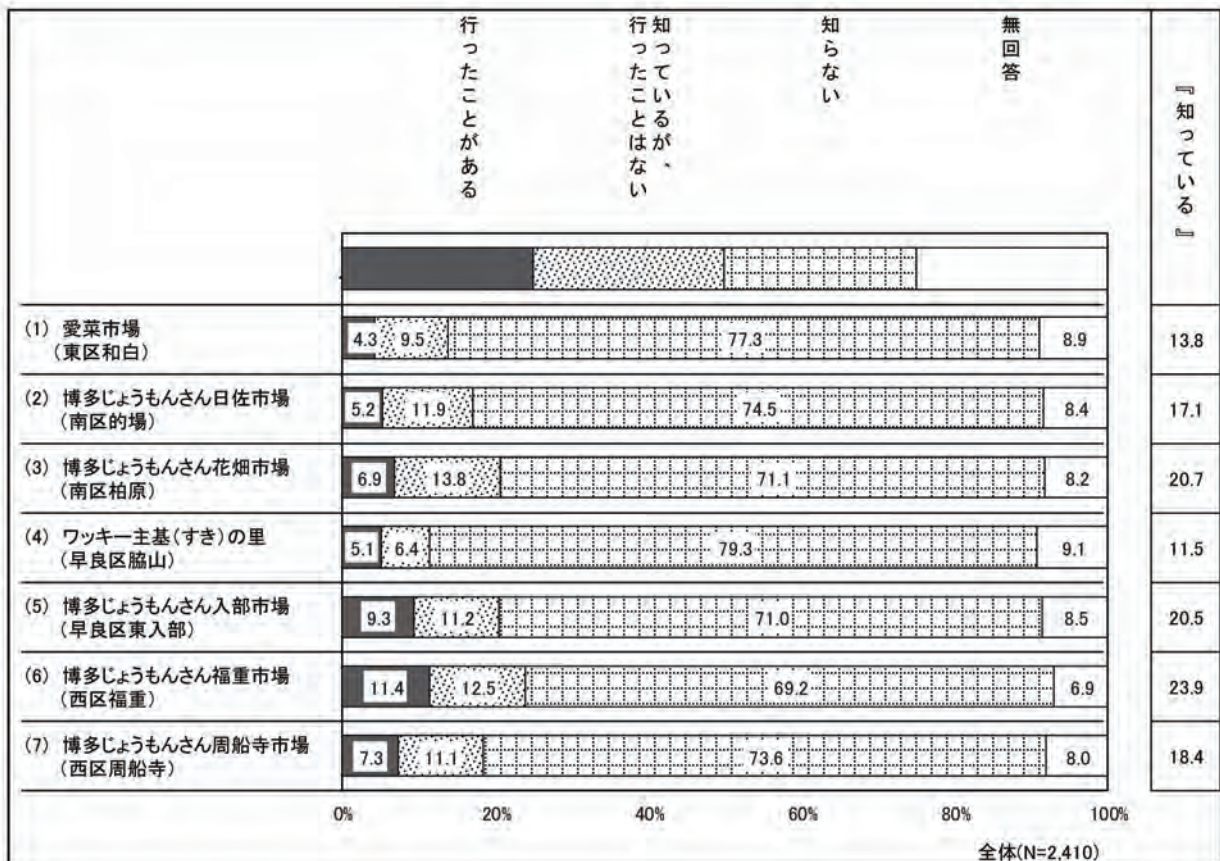


農畜産物の直売所の認知度

問 8 あなたは、福岡市内で、地産地消や農畜産物の消費拡大などのため運営されている次の(1)～(7)のそれぞれについて、知っていますか。また、行ったことがありますか。あてはまるものを1つだけ選び、番号に○をつけてください。

福岡市内で、地産地消や農畜産物の消費拡大などのため運営されている7つの直売所について聞いたところ、「行ったことがある」では博多じょうもんさん福重市場（西区福重）（11.4%）、「知っているが、行ったことがない」では博多じょうもんさん花畑市場（南区柏原）（13.8%）が最も多くなっている。

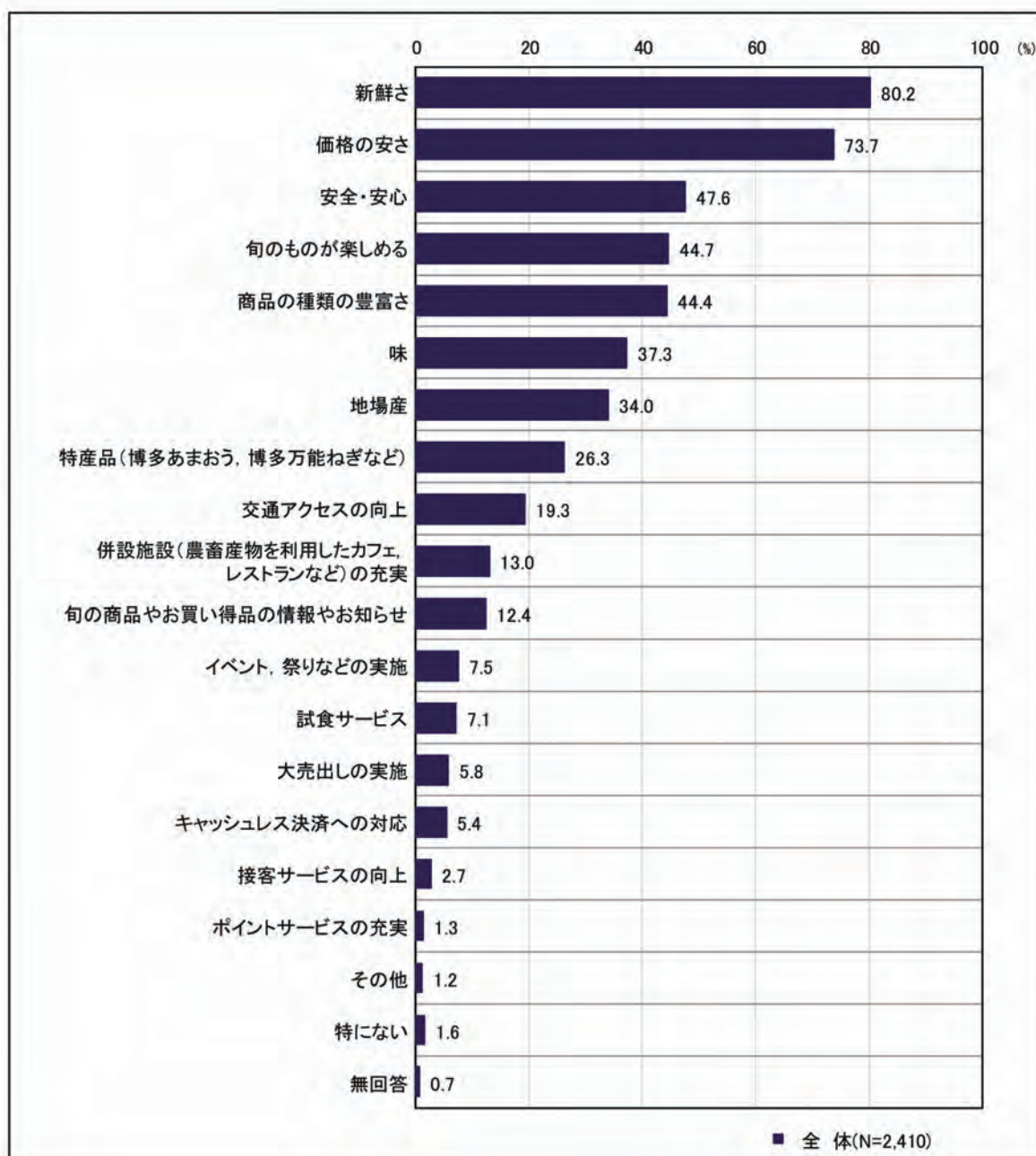
『知っている』（＝「行ったことがある」＋「知っているが、行ったことがない」）の割合は、博多じょうもんさん福重市場（西区福重）が23.9%と最も多く、次いで博多じょうもんさん花畑市場（南区柏原）（20.7%）、博多じょうもんさん入部市場（早良区東入部）（20.5%）となっている。



農畜産物の直売所に期待すること

問 9 あなたが、農畜産物の直売所に期待することは何ですか。特にあてはまるものを5つまで選び、番号に○をつけてください。

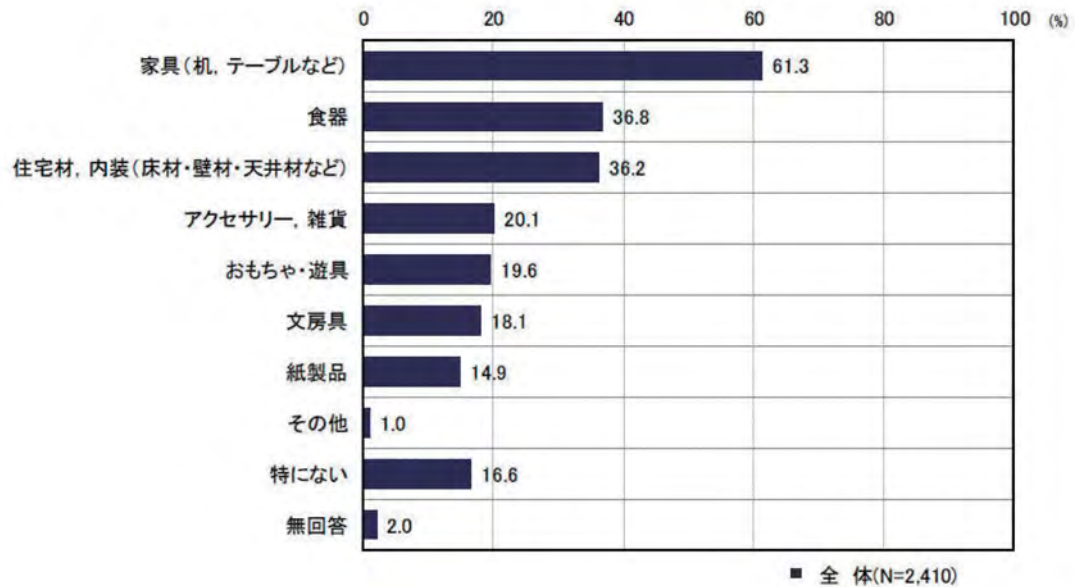
農畜産物の直売所に期待することを聞いたところ、「新鮮さ」が80.2%と最も多く、次いで「価格の安さ」(73.7%)、「安全・安心」(47.6%)、「旬のものが楽しめる」(44.7%)、「商品の種類の豊富さ」(44.4%)となっている。



地域産材の製品使用意向

問 10 あなたは、地域産材（地域の森林から生産された木材）製品について、次のうちどのようなものを使用してみたいと思いますか。特にあてはまるものを3つまで選び、番号に○をつけてください。

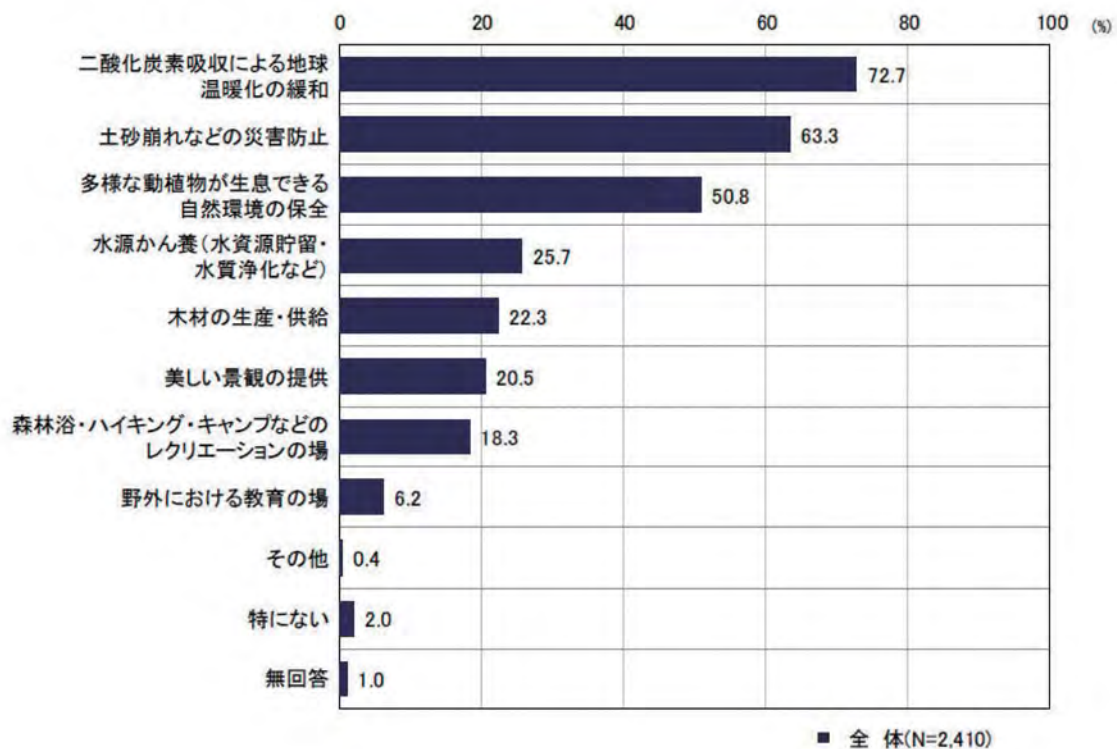
地域産材（地域の森林から生産された木材）製品について、どのようなものを使用してみたいかを聞いたところ、「家具（机、テーブルなど）」が61.3%と最も多く、次いで「食器」（36.8%）、「住宅材、内装（床材・壁材・天井材など）」（36.2%）となっている。



森林が持つ重要な役割

問 11 あなたは、森林が持つ重要な役割はどのようなことだと思いますか。特にあてはまるものを3つまで選び、番号に○をつけてください。

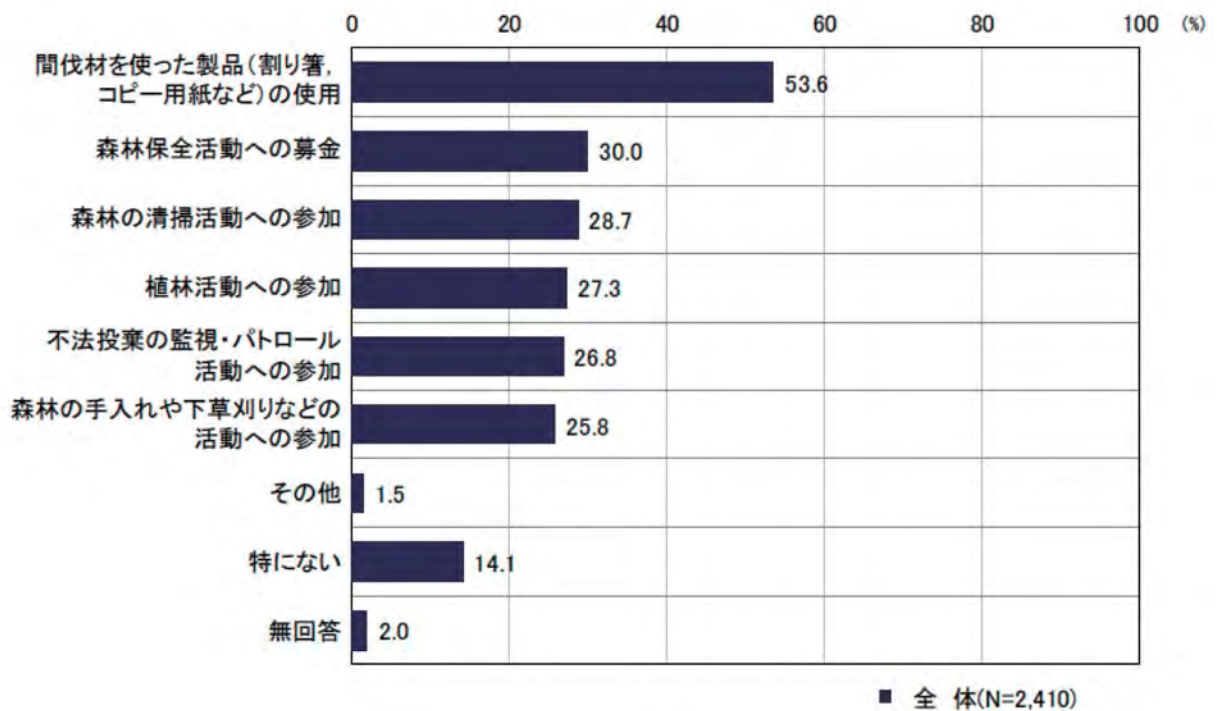
森林が持つ重要な役割を聞いたところ、「二酸化炭素吸収による地球温暖化の緩和」が72.7%と最も多く、次いで「土砂崩れなどの災害防止」(63.3%)、「多様な動植物が生息できる自然環境の保全」(50.8%)となっている。



森林を守っていくためにしたいと思うこと

問 12 あなたは、福岡市にある森林を守っていくために、どのようなことをしたいと思いますか。特にあてはまるものを3つまで選び、番号に○をつけてください。

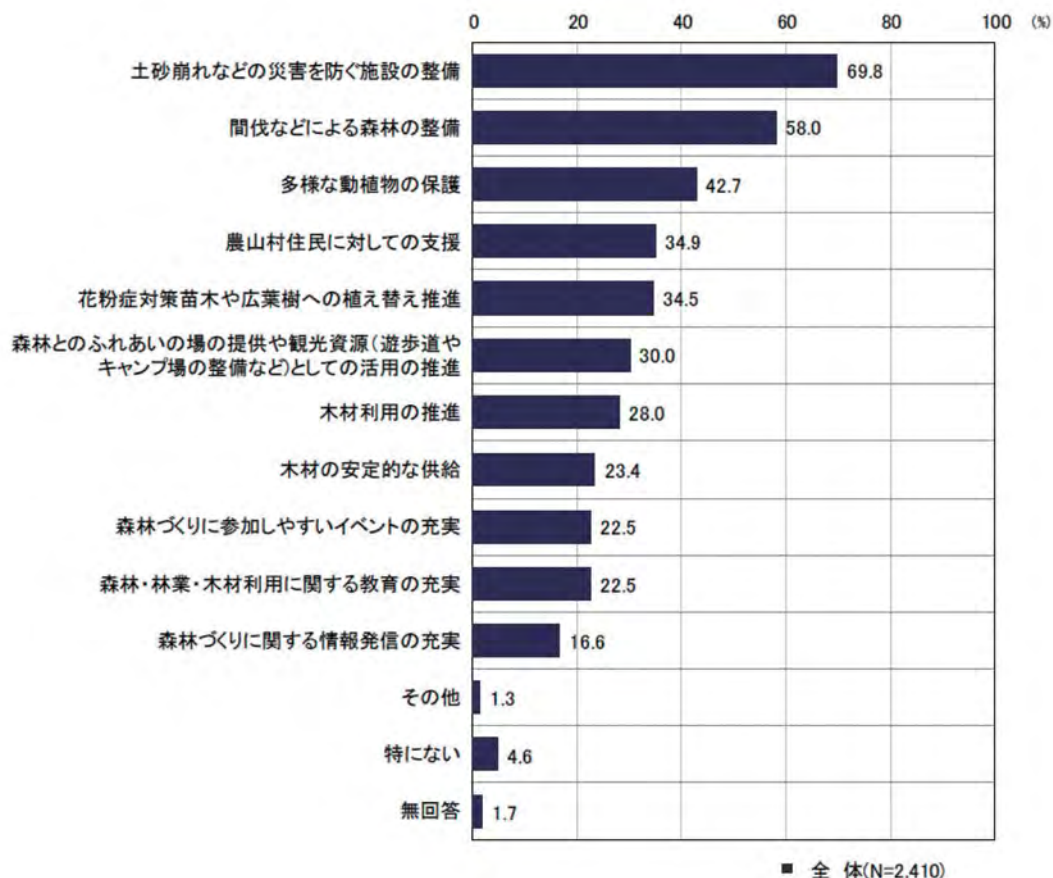
福岡市にある森林を守っていくためにしたいと思うことを聞いたところ、「間伐材を使った製品（割り箸、コピー用紙など）の使用」が53.6%と最も多く、次いで「森林保全活動への募金」（30.0%）となっている。



今後重点的に取り組むべき森林・林業施策

問 13 福岡市が、今後重点的に取り組むべき森林・林業施策はどのようなことだと思いますか。特にあてはまるものを5つまで選び、番号に○をつけてください。

福岡市が、今後重点的に取り組むべき森林・林業施策を聞いたところ、「土砂崩れなどの災害を防ぐ施設の整備」が69.8%と最も多く、次いで「間伐などによる森林の整備」(58.0%)、「多様な動植物の保護」(42.7%)となっている。



第5 第9次福岡市基本計画の成果指標に関する意識調査 （令和2年度）結果概要

1 調査概要

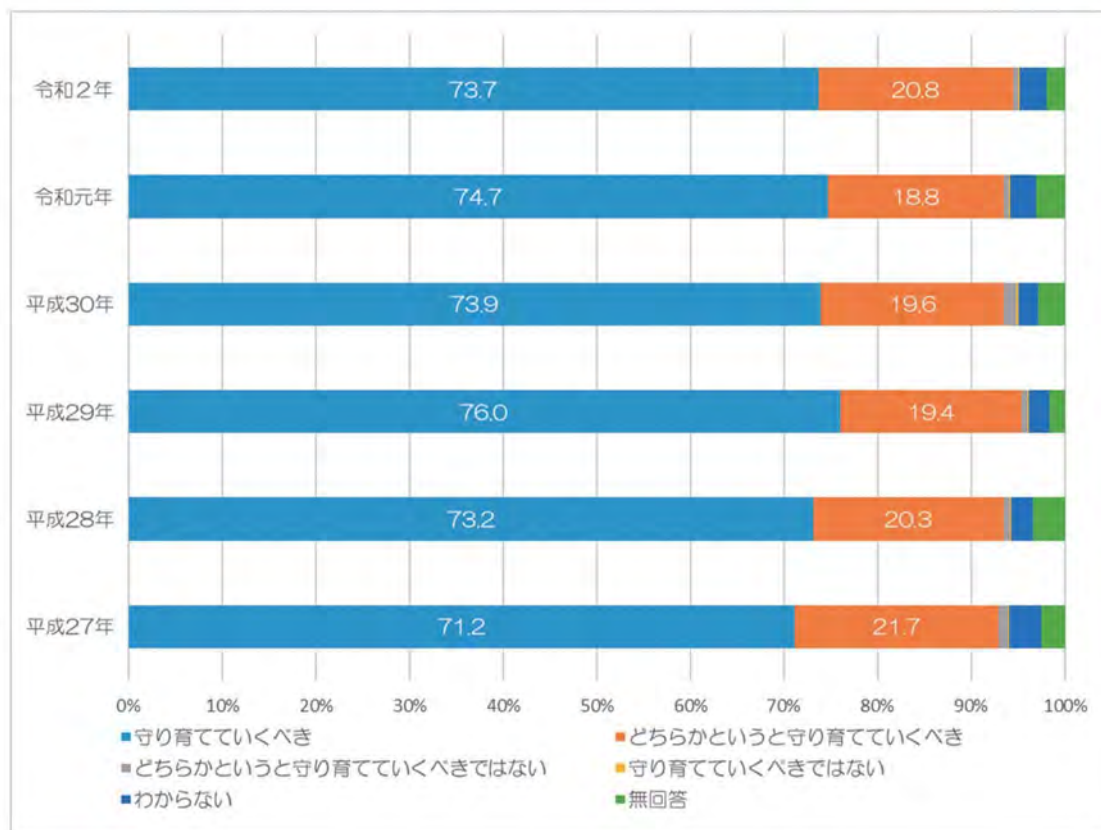
- (1) 調査地域：福岡市全域
- (2) 調査対象者 福岡市内に居住する満18歳以上の男女
- (3) 調査対象者数 4,500 サンプル（回収 2,328 サンプル、回収率 51.7%）

2 調査結果（抜粋）

問 福岡市の農林水産業を守り育てていくべきだと思いますか。

令和2年度の「守り育てていくべき」は73.7%、「どちらかというとしり育てていくべき」は20.8%で両者を合計した割合は94.5%となっています。

平成27年から令和元年までの「守り育てていくべき」は73～76%を推移し、「どちらかというとしり育てていくべき」は18～20%を推移し、両者を合計した割合は93～95%を推移しています。



第6 福岡市農家意識調査結果概要（令和2年度）

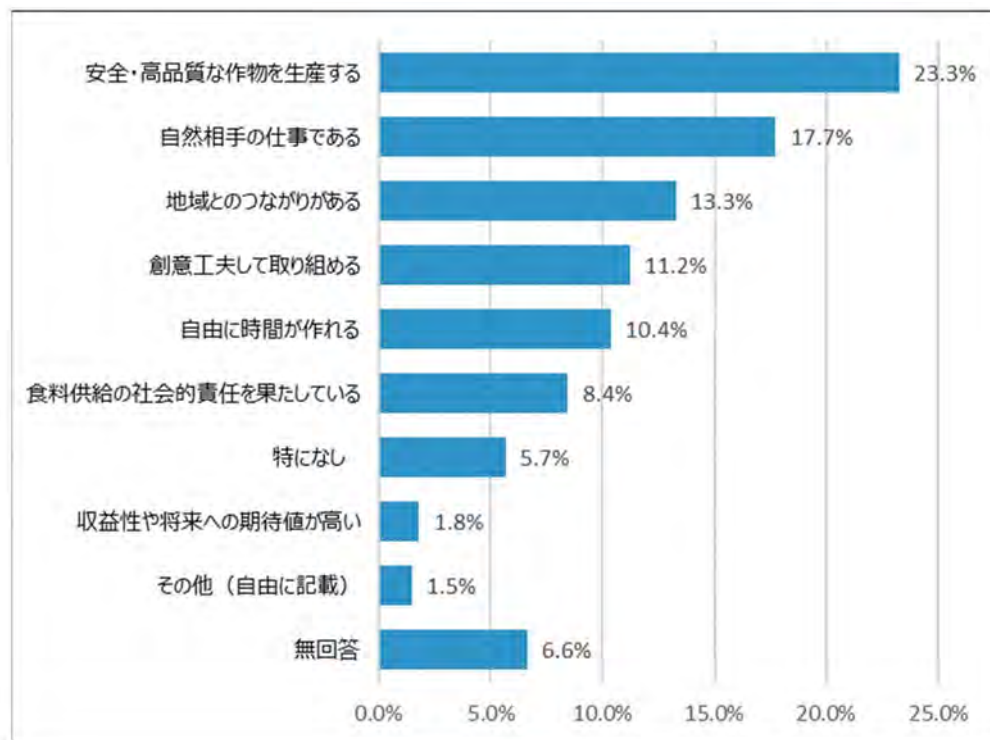
1 調査概要

- (1) 調査地域：J A 福岡市、J A 福岡市東部管内
- (2) 調査対象者：正組合員
- (3) 調査戸数 3,275 サンプル（回収 1,880 サンプル、回収率 57.4%）

2 調査結果

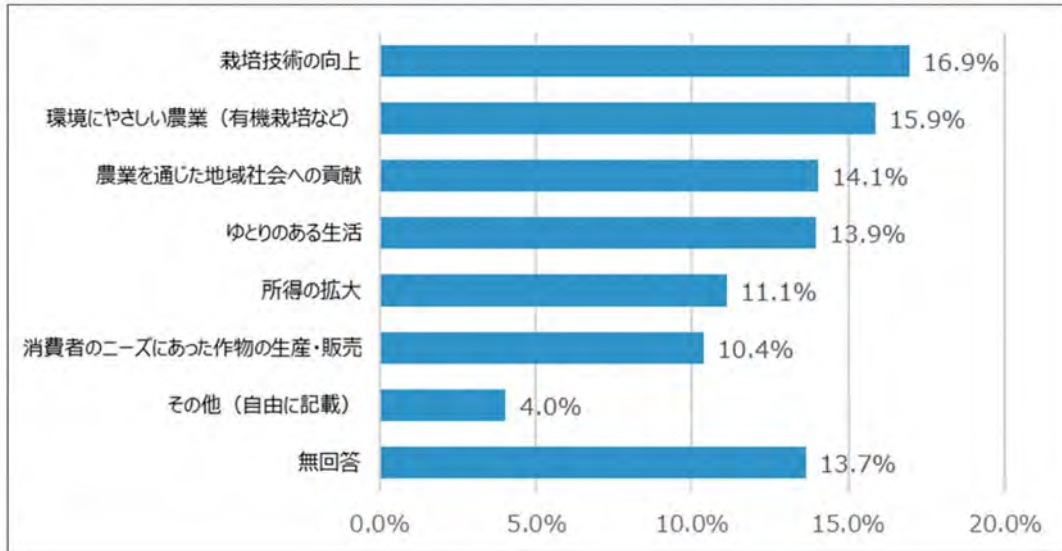
問1 あなたが感じる農業の魅力とは何ですか。あてはまるものを、順番を決めて3つ選んでください

自身が感じる農業の魅力を聞いたところ、「安全・高品質な作物を生産する」が23.3%と最も多く、次いで「自然相手の仕事である」（17.7%）となっている。



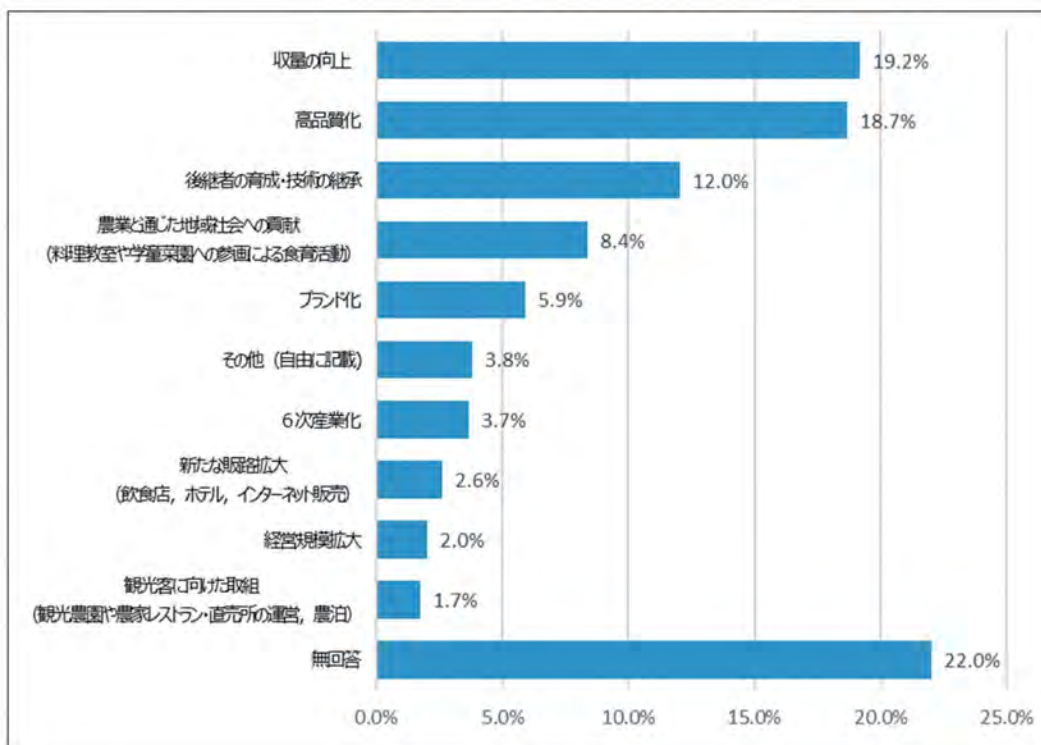
問2 あなたが農業経営で大切にしていることは何ですか。あてはまるものを、順番を決めて3つ選んでください。

農業経営で大切にしていることを聞いたところ、「栽培技術の向上」が16.9%と最も多く、次いで「環境にやさしい農業」（15.9%）、「農業を通じた地域社会への貢献」（14.1%）、「ゆとりある生活」（13.9%）となっている。



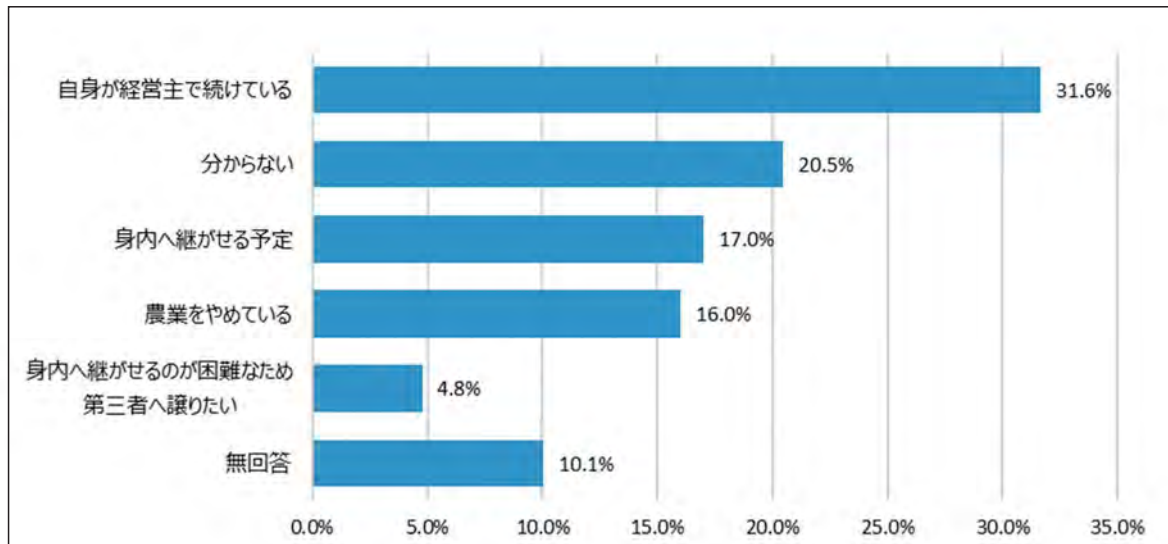
問3 あなたが今後力を入れていきたい取組みは何ですか。あてはまるものを、順番を決めて3つ選んでください。

今後力を入れていきたい取組みを聞いたところ、「収量の向上」が19.2%と最も多く、次いで「高品質化」（18.7%）、「後継者の育成・技術の継承」（12.0%）となっている。



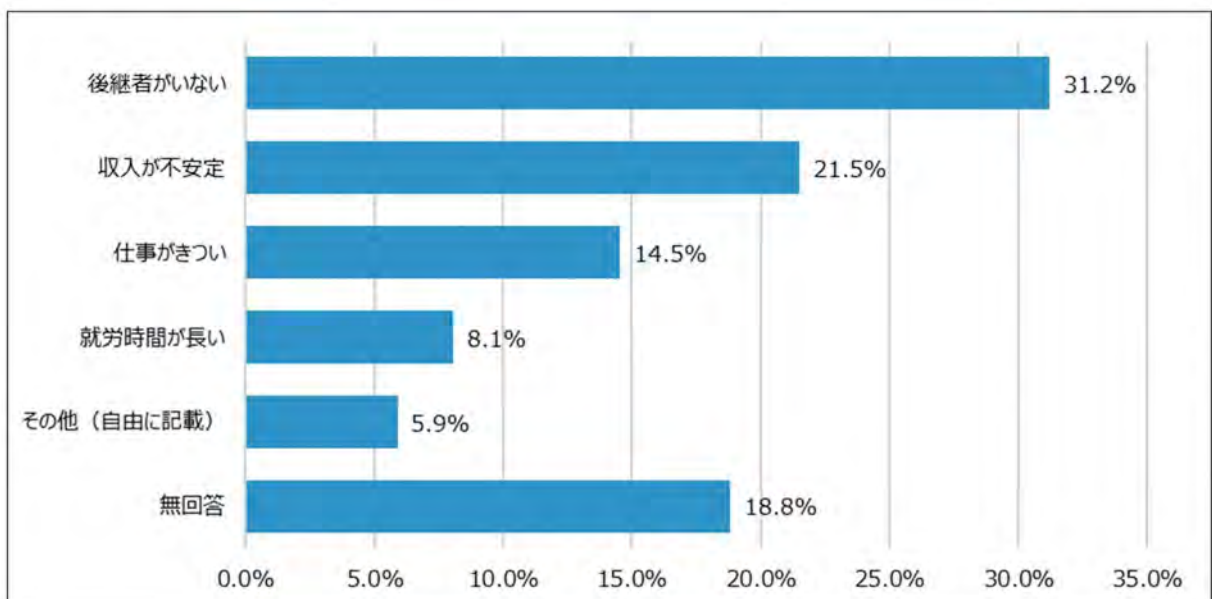
問 4 あなたは 5 年後の農業経営についてどのようにお考えですか。あてはまるものを 1 つだけ選び、番号に○をつけてください。

5 年後の農業経営についてどう考えているか聞いたところ、「自身が経営主で続けている」が 31.6%と最も多く、次いで「分からない」（20.5%）となっている。



問 4 - 1 （問 4 で「身内へ継がせるのが困難なため、第三者へ譲りたい」「農業をやめている」「分からない」を選んだ方）
その理由にあてはまるものを、順番を決めて 3 つ選んでください

身内へ継がせるのが困難、農業をやめている、分からないを選んだ理由を聞いたところ、「後継者がいない」が 31.2%と最も多く、次いで「収入が不安定」（21.5%）となっている。



第7 用語の解説

1 農業

用 語		解 説
あ行	I o T	様々なモノがインターネットに接続され、相互に情報をやり取りして、自動認識や自動制御、遠隔操作などを行う仕組み
	I C T	通信や情報に関する技術の総称
	R C E P	Regional Comprehensive Economic Partnership の略。ASEAN（東南アジア諸国連合）及び日本等を含めた 15 カ国が参加する「地域的な包括経済連携」
	E P A	Economic Partnership Agreement の略。経済連携協定。FTA の内容に加え、投資ルールや知的財産の保護等も盛り込み、より幅広い経済関係の強化を目指す協定 FTA（Free Trade Agreement の略。自由貿易協定。物品の関税やサービス貿易の障壁等を削減・撤廃することを目的として特定国・地域の間で締結される協定）
	A I	Artificial Intelligence の略。人工知能。学習・推論・判断といった人間の知能の持つ機能を備えたコンピュータシステム
	エコファーマー	「持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律」に基づき、「土づくり」「化学合成農薬の低減」「化学肥料の低減」の3つ全てに取り組む計画を作成し、都道府県知事の認定を受けた農業者
	S D G s (持続可能な開発目標)	SDGs は Sustainable Development Goals の略。 平成 27(2015)年 9 月の国連サミットにおいて全会一致で採択された、令和 12(2030)年を期限とする国際社会全体の開発目標。飢餓や貧困の撲滅、経済成長と雇用、気候変動対策等包括的な 17 の目標を設定。法的な拘束力はなく、各国の状況に応じた自主的な対応が求められる
か行	園地草生栽培	果樹園に下草を生やす園地管理法。生やした下草で雑草を抑えることによって、草刈り回数を減らしたりすることができる
	環境保全型農業	農業の持つ物質循環機能を生かし、生産性との調和などに留意しつつ、土づくり等を通じて化学肥料、農薬の使用等による環境負荷の軽減に配慮した持続的な農業
	観光農園	農業者が生産した農産物を観光客等に収穫体験させ代金を得る農園
	G A P (農業生産工程管理)	Good Agricultural Practices の略。農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組み

用 語		解 説
か行	耕作放棄地	過去 1 年以上作付されず、今後数年の間に再び耕作する意思のない農地
	耕畜連携	畜産農家において生産された堆きゅう肥を利用して耕種農家が作物を栽培したり、耕種農家が生産した飼料作物を畜産農家で利用するなど、畜産農家と耕種農家の連携を図ること
さ行	生産緑地地区	市街化区域内にある農地等の緑地機能を活かし、公害又は災害の防止や農業と調和した都市環境の保全等良好な生活環境の確保に効果がある農地等を計画的に保全するため都市計画に定めた地区
た行	体験農園	農家（園主）が開設し、農家の指導を受けながら、農作業を体験する農園（多品種、高品質、安定した収穫が期待できる）
	多面的機能	国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成、文化の伝承等、農村で農業生産活動が行われることにより生ずる、食料その他の農産物の供給の機能以外の多面にわたる機能
	畜産クラスター	畜産農家をはじめ、地域の関係事業者が連携・結集し、地域ぐるみで高収益型の畜産を実現するための体制
	T P P 11	アジア太平洋地域における、モノの関税だけでなく、サービス、投資の自由化を進めるとともに、知的財産、金融サービス、電子商取引など、幅広い分野でのルールを構築する包括的協定である TPP から米国が離脱後、米国を除く 11 か国で協議した結果、大筋合意し署名した協定
	都市型農業	大都市近郊で行われる農業で、大消費地に近い特性を活かし新鮮な農産物を供給できるため、野菜や花きを主体とした農業がおこなわれる
な行	認定農業者	「農業経営基盤強化促進法」に基づき、農業経営改善計画（5 年後の経営目標）を作成し、市町村が認定した経営体
	農地中間管理機構	農地利用の集積・集約化を行う中間的受け皿として都道府県段階に創設された公的機関
は行	ふくおかさん家のうまかもん条例	福岡市内で生産された農林水産物及びその加工食品の生産及び加工並びに利用及び消費拡大に関して基本理念を定めたものであり、食に関する選択の機会の確保、食を目的とする観光客の来訪の促進等を図り、関連産業の健全な発展及び市民の健康で豊かな生活の向上に寄与することを目的としている

用 語		解 説
ま行	みどりの食料システム戦略	令和3年5月、国における食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現させるための中長期的な政策指針として策定されたもの。2040年までの技術開発目標と、2050年までの社会実装目標の2段階の目標が設定されている このうち、農業部門では、2040年までに、農業機械の電化・水素化などや次世代有機農業に関する技術を確立すること、また、2050年までに、農林水産業のCO2ゼロエミッション化の実現や有機農業に取り組む耕地面積の割合を25%とすることなどが掲げられている 2050年までに目指す姿(農業部門の一部抜粋) ・農林水産業のCO2ゼロミッション化の実現 ・低リスク農薬への転換、総合的な病害虫管理体系の確立・普及に加え、新規農薬等の開発により化学農薬の使用量を50%低減 ・輸入原料や化石燃料を原料とした化学肥料の使用量を30%低減 ・耕地面積に占める有機農業の取組み面積の割合を25%（100万ha）に拡大
	緑肥	植物をそのまま土壌中にすき込んで分解させ、その後に栽培する作物の肥料にすること
ら行	6次産業化	農林漁業者が、農林水産物の生産（1次産業）及び加工（2次産業）、販売（3次産業）を一体的に行う取組み

2 林業

用 語		解 説
か行	カーボン・オフセット	日常生活や経済活動において排出される二酸化炭素などの温室効果ガスのうち、どうしても削減できない量を、他の場所での排出削減・吸収量でオフセット(埋め合わせ)すること。
さ行	森林基幹道	広域な森林地域において効率的な森林整備のための骨格となる林道であり、適正な森林管理による多面的機能の発揮のほか、山村地域の振興等を目的とする林道。
	森林経営計画	森林所有者又は森林所有者から経営の委託を受けた者が作成するもので、面的なまとまりのある森林を単位とした伐採・造林や路網の整備等に関する計画。
	森林作業道	森林所有者や林業事業体が森林施業を行うための道。主として林業機械（小型トラックを含む）の走行を想定し、経済性を確保しつつ丈夫で簡易な構造が求められる。
	森林の多面的機能	森林の持つ、水源かん養、土砂災害防止／土壌保全、地球環境保全、生物多様性保全、快適環境形成、保健・レクリエーション、文化、木材生産等の多様な機能のこと。
た行	地域産材	福岡市内で生育・伐採された木材（市産材）及び市近郊で生育・伐採された木材。
は行	分収林制度	土地所有者、造林者及び造林や育林の費用負担者が森林の造成について契約を結び、その契約の対象となっている森林からの収益を一定の割合で分け合う制度。
ま行	木育	子どもから大人までを対象に、木材や木製品とのふれあいを通じて木材への親しみや木の文化への理解を深め、木材の良さや木材利用の意義を学んでもらうための教育活動。
	木質バイオマス	「再生可能な生物由来の有機性資源（化石燃料は除く）」のことをバイオマスと呼び、そのなかで、木材からなるものを指す。主に、樹木の伐採時に発生した枝、葉などの林地残材、製材工場などから発生する端材などがある。
ら行	利用間伐	成長過程で過密となった森林を適度な密度にするために伐採し、その間伐材を搬出して利用すること。
	林業資源ビジネス化プロジェクト	市営林において、間伐作業で発生する木材を市場に流通させる事業。間伐材は、山から搬出するコストが高く、これまでその多くが森林内に残されてきたが、航空レーザ計測による地形・樹木データを活用することで、効率的な森林作業道の整備が可能となったため、平成29年度より取り組んでいるもの。
	路網	林道、林業専用道、森林作業道全体を含めた総称、または、それらを組み合わせたもの。

第8 福岡市農林業総合計画に対するパブリック・コメント実施結果

1 意見募集の実施概要

- (1) 意見募集期間 令和3年10月15日から11月15日まで
 (2) 意見の提出状況 意見の件数 34 件 (提出者：18 名)

2 主な意見と対応

第2部 農業		意見(要約)	意見への対応
第2部 農業 第2部 農業の現状と課題	第2部 農業の現状と課題	「(5) 農産物の流通」の項目で、気候変動と同様に重要であり、農業と強い関係を持つ「生物多様性」とその保全についての記載がない。 「(8) 多面的機能の発揮」で単独はあるが、この項目は「農業や農地」自体が持つ機能としての生物多様性保全である。農業を行うことによる農地の影響の観点から、農業の使用による農地等への影響、外来種の拡大、水防施設等の改修による農地の減少などを踏まえての高度が必要と考える。	【意見を踏まえ修正】 1ページ「計画策定の目的」の中で、農地や森林における生物多様性の保全について記載しております。ご意見につきましては、「生態系の保全」を記載することとし、計画を推進していくうえでの参考とさせていただきます。
	第3部 基本方向 第1部 長期的な目標(長期ビジョン)	長期ビジョンについて、農産物などの農業関係との関係性について具体的に示えていないが、どのように考えているのか。	【意見のとおり】 各農産物の生産にあたっては、農協等の関係団体と協力して推進し、今後連携して取り組むこととしています。本計画における長期的な目標(長期ビジョン)については、「30年後の福岡市の農業が目指す姿」としてどのような農業を築いていくのか、どのような福岡市の農業であって欲しいのかとの視点に立脚し、目標を設定しました。原案のとおりでご理解願います。
	第3部 基本方向 第2部 計画の目標(5年計画)	長期ビジョンについて、30年後も、そのような福岡市であって欲しい、とあるが、30年後も現在と変わらない状態ではないのか。	【意見のとおり】 福岡市の農業の状況は、30年前と現在比較しますと、農地面積は約3分の2、農業従事者数は約半分に減少しています。今後、この減少傾向を抑えつつ、担い手支援や農地集約化など、持続できる強い農業を推進するための各種施策に取り組むこととしております。
	第3部 基本方向 第2部 計画の目標(5年計画)	「福岡市が理想とする農業の姿の実現に近づけてまいります」とあるが、理想とする農業とは何を指すのか。	【意見を踏まえ修正】 ここでは福岡市の農業が目指す姿の実現に近づけていきます」に修正します。
第3部 基本方向 第2部 計画の目標(5年計画)	第3部 基本方向 第2部 計画の目標(5年計画)	農産物の所得の向上を図るにあたっては(例)流通・消費の面では、消費者への農産物に関する情報発信を行うことにより、農産物の理解を深めていくことが重要ですが、とあるが、農産物の所得の向上につながるのか。	【意見のとおり】 生産者側の生産性の向上だけでなく、消費者側の消費拡大が図られることにより、農産物の安定供給が可能となり、生産・流通・消費の「循環」が生まれます。この循環が担い手や新規就業者への支援とつながり、更なる所得向上への取組みにつながり、それが好循環をひきだすことにより所得向上が図られるものと認識しています。原案のとおりでご理解願います。
	第3部 基本方向 第2部 計画の目標(5年計画)	12ページ「第3部 振興方向(5年計画)」の「(2) 農産物の安全と生産基盤の整備」で「生産現場における環境負荷低減に向けた取り組みを進める」とあるのに対し、13ページ「第1部 戦略の体系」の「5年間の施策方針」では該当する方針が記載されていません。さらに16-17ページの「農産物の生産性向上」で、振興方向と具体的な施策が記載されている。12ページの「5年間の施策方針」では該当する方針が記載されていません。さらに16-17ページの「農産物の生産性向上」で、振興方向と具体的な施策が記載されている。12ページの「5年間の施策方針」では該当する方針が記載されていません。さらに16-17ページの「農産物の生産性向上」で、振興方向と具体的な施策が記載されている。	【意見のとおり】 生産現場における環境負荷低減に向けた取組みとして、16ページでは農業資材のグリーン化や農産物の再利用など農産物の循環利用を図る取組みを進めることとしております。原案のとおりでご理解願います。
	第3部 基本方向 第2部 計画の目標(5年計画)	12ページの「5年間の施策方針」では該当する方針が記載されていません。さらに16-17ページの「農産物の生産性向上」で、振興方向と具体的な施策が記載されている。12ページの「5年間の施策方針」では該当する方針が記載されていません。さらに16-17ページの「農産物の生産性向上」で、振興方向と具体的な施策が記載されている。	【意見のとおり】 農業従事者が減少傾向にある中、多様な人材の確保や育成が急務であると認識しています。15ページの中で、女性農業者の積極的な参画の推進や、農業内外分野との連携、各地域における農業経営者の組織づくりの支援などに取組みることとしております。
	第3部 基本方向 第2部 計画の目標(5年計画)	12ページの「5年間の施策方針」では該当する方針が記載されていません。さらに16-17ページの「農産物の生産性向上」で、振興方向と具体的な施策が記載されている。12ページの「5年間の施策方針」では該当する方針が記載されていません。さらに16-17ページの「農産物の生産性向上」で、振興方向と具体的な施策が記載されている。	【意見のとおり】 観光政策については、14ページ「多様な担い手の確保と育成」の中で、将来にわたって農業を支える新規就業者とともに「次代の担い手」として確保・育成に取り組むこととしています。
第4部 振興施策 第2部 振興の推進方策・重点施策	第4部 振興施策 第2部 振興の推進方策・重点施策	これらの施策は、AI・IoTなどの先端技術の活用が重要、そのためには若い新規就業者が必要。福岡市は若者が多い市、若者の就業の機会をつくるために、農業のデジタル化に力を入れたらいいと思う	【意見のとおり】 AI・IoTなど先端技術の活用は重要であると認識しています。ご意見につきましては、計画を推進していくうえでの参考とさせていただきます。
	第4部 振興施策 第2部 振興の推進方策・重点施策	最近では事業単位で就労者を農家同士で話し合いを持つ機会が少なくなっているため、このような機会を育成支援することが必要と考える。	【意見のとおり】 各地域における農業経営者を支援するため、農業経営者の組織づくりへの支援が必要であると認識しています。ご意見につきましては、計画に基き地産を重視していく際の参考とさせていただきます。
	第4部 振興施策 第2部 振興の推進方策・重点施策	農地の保全について農地法に基づいての対策が記載されていない。	【意見のとおり】 農地法の禁止について、農地を含む農地環境の保全を図ることから、20ページ「地域の特性を活かした魅力ある農づくり」の中の取組みの一つとして記載しています。
	第4部 振興施策 第2部 振興の推進方策・重点施策	農業は農地に対する農産物の販売や水防の整備等の農産物の振興施策の福岡市独自の予算を充実すべき。	【意見のとおり】 ご意見につきましては、本計画を推進していくうえでの参考とさせていただきます。
第4部 振興施策 第2部 振興の推進方策・重点施策	第4部 振興施策 第2部 振興の推進方策・重点施策	食の安全・安心に向けた取組みとあるが、福岡市は有機農業への取組みについてどのように考えているのか。	【意見を踏まえ修正】 19ページ「食の安全と食育の推進」の中で、「農業の生産・流通・消費の連携を促進し、消費者と生産者の距離を縮め、消費者の理解促進を図る」とあるのは、地域の気候や農業関係の取組みに配慮しながら、有機農業に取り組む農産物の拡大が図られるよう農業関係の理解促進に努めることを追記します。
	第4部 振興施策 第2部 振興の推進方策・重点施策	「(2) 農と都市の交流促進」は、大切な取り組みと考える。市内の関連施設が事例として挙げられているが、「かなたけの里公園」等、他部署の施設が例を記載したり、横断的に連携を行っていく等の共働が必要ではないか。	【意見のとおり】 農と都市の交流促進は重要な課題であり、関係機関等と一体的に取り組む必要があると認識しています。ご意見につきましては、関係機関や市民団体との連携など、今後、本計画を推進していくうえでの参考とさせていただきます。

第2部 展望 (続き)

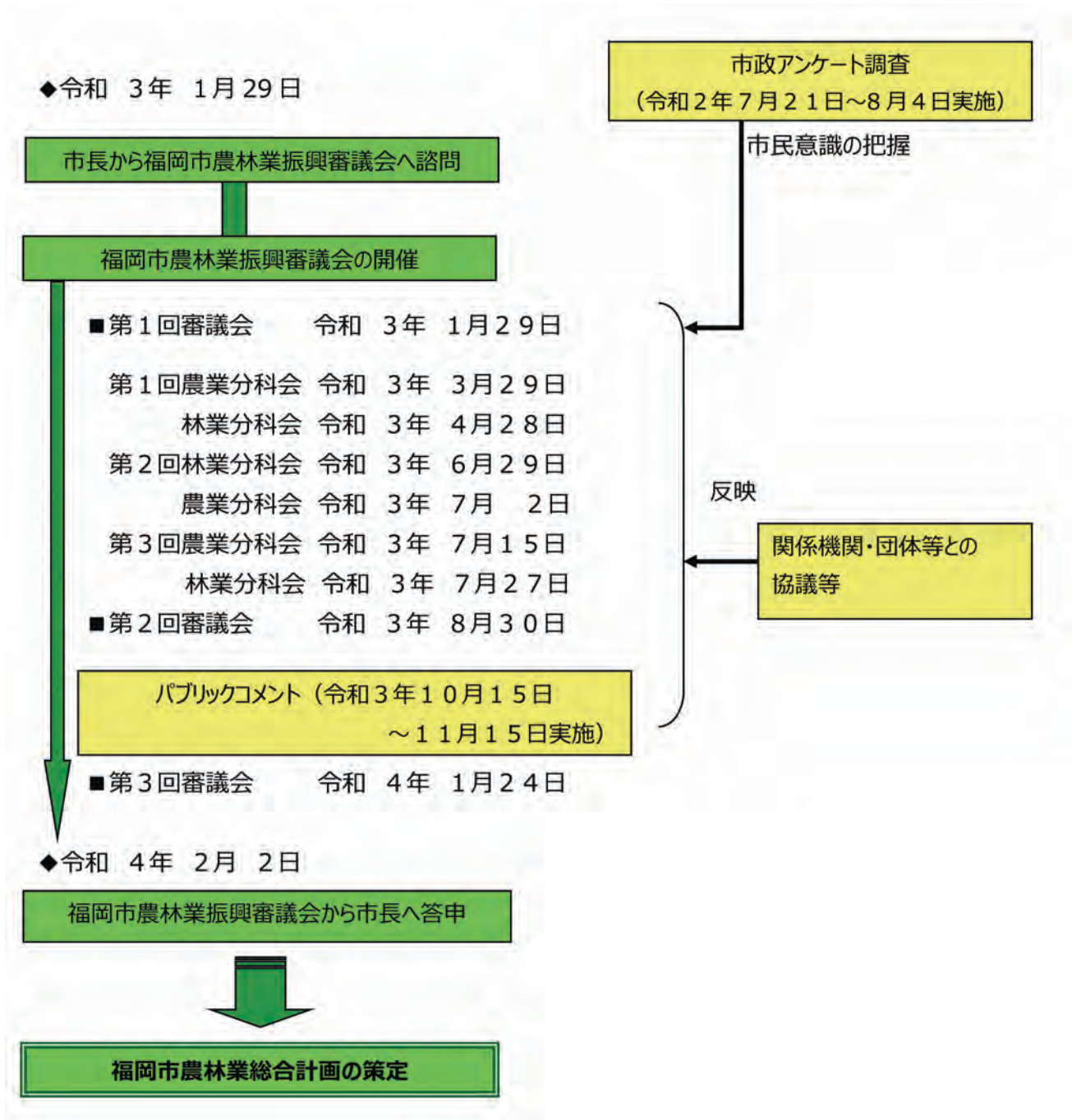
意見箇所 項目	意見 (要 約)	意見への対応
第4章 第4節 第3節	「みどりの食料システム戦略」を第4章第3節5年後の目標にくみこむ。 (例) 近産、水稲は農業を使用していない栽培が増えたり、これを、 更に進めて有機栽培技術を研究していくことに着目する。	【意見を踏まえ修正】 国定市の「みどりの食料システム戦略」の中で示された2040年及び2050年までの目標実現に向けて、本計画(5年計画)においては、19ページ「食の安全と食育の推進」の中で、「農家の雇用策・環境負荷等を低減した木村作りを関係団体と連携して進めていく。今後、有機農業を進めていくにあたっては、地域の気候や農業者の意向に配慮しながら、有機農業に取り組む地域の拡大が図られるよう農業経営の理解促進に努める。」ことを追記します。
第4章 第4節	平泉区の、特に中山間地域の田んぼでは米の収穫が少ない、例えばブランド化して需要拡大し、生産も拡大してほしいとか	【修正案のとおり】 ブランド化については、18ページ「消費拡大、地産地消の推進」の中でも次産品化やブランド化に取り組み農業者等を支援していくこととしておりますので、ご意見につきましては、計画に基づき施策を実施していく際の参考とさせていただきます。
第4章 第4節	市の令和3年度一般会計予算案のうち、農業予算額は約37億円と少ない。	【修正案のとおり】 ご意見につきましては、本計画を推進していくうえでの参考とさせていただきます。
その他	実施する農家に、当計画に基づく施策を知ってもらわなければならない。	【修正案のとおり】 本計画の中で、農家の重要性や魅力と認知の共有を図り、市民への関心に関する情報発信の充実にも努めることを重点施策としていきます。施策推進にあたり、まずは農業者等への本計画の周知を図ります。

第3郎 林聖

	意見箇所 項目	意見（要約）	意見への対応
第2期 現状と課題	39	「収益の向上を図る」ための「林業資源ビジネス化プロジェクト」とはどのような取り組みか。	【意見を踏まえ修正】 市営林において、間伐作業で発生する木材を市場に流通させることを試みる事業です。間伐材は山から搬出するコストが高いため採算が合わず、これまで多くの森林内に集まっています。平成28年度及び令和元年度に実施した航空レーザ計測により得られた地形や樹木の詳細なデータを活用することで、伐採木の額面に効果的な森林作業道の整備が可能となり、輸送コストの低減につながることから、平成29年度から取り組んでいるものです。 資料編「用語の解説」に、「林業資源ビジネス化プロジェクト」の項目を追加します。
	39	市内複数の木材流通の効果化のため関係事業者によるサブライチエーン構築が必要と考えますが、どのように取り組むのか。	現在、市内産材ほとんどが流通していないことから、令和元年版より市有林の主役を開始するとともに、公共施設の本質化に取り組むことで、市内産材の普及啓発に取り組んでいます。今後、実績を積み重ねながら、生産者、加工業者等と連携し、市内産材の変革的な供給体制の構築に向けて取り組んでいきたいと考えています。
	45	昭和53年と平成6年に大増水を経験した福岡市にとって水源を確保することは非常に重要であり、「森づくりの基本地図」に「水循環の森づくり」が位置づけられていることは経緯、今後とも継続的な森林整備に取り組んでほしい。	ご意見については、今後の参考とさせていただきます。
	46	福岡市の将来像（みんなどきり・美しき・あがす都市の森づくり）の実現に向け、市民への情報提供や広聴など、情報発信が重要ではないか。	【意見を踏まえ修正】 市民への情報提供や広報は重要な取組みであることと認識し、46ページ、「財来像を実現するための役割分担」の項目に記載します。
	46	福岡市林業以外の情報の普及や啓発も重要であるため、行政あるいは大学などが主体的に取り組む体制を構築する必要があるのではないかと。	【原案のとおり】 46ページ、「財来像を実現するための役割分担」に記載のとおり、関係機関が連携しながら、推進体制の構築に取り組むこととしています。
	46	農業も林業もコンプレックスシティである福岡を支える極めて重要な産業であり、その価値を市民に認識してもらうことが重要。福岡市の農業や森林の状況、課題などを市民が学ぶ機会を提供、学びのための資料の充実が求められる。	ご意見については、今後の参考とさせていただきます。
第3期 基本方向	46	福岡市林業以外（コンパクトシティ）である福岡を支える極めて重要な産業であり、その価値を市民に認識してもらうことが重要。福岡市の農業や森林の状況、課題などを市民が学ぶ機会を提供、学びのための資料の充実が求められる。	【原案のとおり】 ご意見については、今後の参考とさせていただきます。
	49	人工林の広域植林や針広混交林化による花開き対策とあるが、目分も花開き対策なので、おおいに進めてほしい。	ご意見については、今後の参考とさせていただきます。
	51	秋くい虫対策について、油山のアカマツガキは希少な植物群落であることに触れ、保全に力を入れてほしい。	ご意見については、今後の参考とさせていただきます。
	51	本計画の計画が油山牧場および油山市民の森に設置されることを望む。	ご意見については、今後の参考とさせていただきます。
	51	高齢化や代替わりによって、所有者が手入れてきたなくなってきた森林についても、多面的機能を発揮し、市民生活を守るために、市が積極的に関わることが必要である。	ご意見については、今後の参考とさせていただきます。
	52	木は枯ったときに落ち込み・垂さができたり、ぬめりもりをもっと抑えたい。	【意見を踏まえ修正】 52ページ、「第2期 施策の実施方針・重点領域」1 森林の有する多面的機能の発揮（2）市民に身近で魅力あふれる森づくりの項目に、水のぬめりや心癒やすなど木質化による効果を追記します。
	53	林道の老朽化が進んでいるが、木材を搬出するために重要なインフラであるため、維持管理にしっかりと取り組んでほしい。	ご意見については、今後の参考とさせていただきます。
第4期 施策の実施方針・重点領域	54	{休んで、使って、揃える}とは異なるが、人工林を一斉に伐採すると、土砂災害の危険が増すのではないかと。	【意見を踏まえ修正】 54ページ、「第2期 施策の実施方針・重点領域」1 森林の有する多面的機能の発揮（1）快適に暮らしを守る森づくりの項目において、面的な森林整備を実施することには従来のリスンを軽減する従来方法を採用することとしてあります。 また、主伐（皆伐）後は再造林を行い、災害の防止等、多面的機能が引き継ぎ発揮されるように努めています。54ページ、「第2期 施策の実施方針・重点領域」1 森林の有する多面的機能の発揮（1）快適に暮らしを守る森づくりの項目に、主伐後の再造林について追記します。
	54	子どもたちが自然の中で木遊びやバーベキューなどを思い切り楽しむことのできる森林が、夏祭りに行ける場所に乗っいたらよい。	【原案のとおり】 52ページ、「第2期 施策の実施方針・重点領域」1 森林の有する多面的機能の発揮（2）市民に身近で魅力あふれる森づくりの項目に記載のとおり、油山市民の森において、様々なニーズに対応した身近な体験活動・森林教育場の場を整備することとしています。
	54	制度になれるまちづくり（Fitness City）の促進に向けて、歩道を歩きやすくするためにベンチの設置場所を調査する必要はある。ベンチの数を削減しようとする中で、林業の発展へのつながりが期待できる。	ご意見については、今後の参考とさせていただきます。
	55	5年後の目標に、森林ボランティア数増加を目指すことが掲げられているが、そのためには、夏祭りに参加できる場所や情報を増やしてほしい。	【原案のとおり】 ご意見については、今後の参考とさせていただきます。

第9 福岡市農林業総合計画策定までの経過

1 計画策定に至るまでの経過



2 福岡市農林業振興審議会委員及び臨時委員名簿（計画策定に携わった委員）

（順不同、敬称略）

区分	氏 名	役 職 等	備 考
学識経験者	甲斐 諭	中村学園 顧問(前学長)	農業分科会長
	矢部 光保	九州大学大学院 農学研究院教授	
	佐藤 宣子	九州大学大学院 農学研究院教授	林業分科会長
	岡安 崇史	九州大学大学院 農学研究院准教授	
	三成 由美	中村学園大学 特任教授・学長補佐	
	丸小野 光正	福岡大同青果株式会社 代表取締役社長	
	田中 美智子	株式会社トータルオフィス・タナカ 代表取締役	
	重松 秀行	福岡県福岡農林事務所 所長	(～R3.4.7)
	柳田 栄一	福岡県福岡農林事務所 所長	(R3.4.8～)
市議会議員	川上 晋平	福岡市議会議員(経済振興委員会)	(～R3.5.31)
	おばた 久弥	福岡市議会議員(経済振興委員会)	(R3.6.1～)
	津田 信太郎	福岡市議会議員(経済振興委員会)	
	篠原 達也	福岡市議会議員(経済振興委員会)	
	井上 麻衣	福岡市議会議員(経済振興委員会)	
	倉元 達朗	福岡市議会議員(経済振興委員会)	
農林業団体 代表者	中村 光明	福岡市農業委員会 会長	
	鬼木 晴人	福岡市農業協同組合 代表理事組合長	会長
	藤野 真治	福岡市東部農業協同組合 代表理事組合長	会長職務代理者 農業分科会長職務代理者
	野坂 真利子	福岡市農業協同組合 女性部協議会副会長	(～R3.5.31)
	宮嶋 貞子	福岡市農業協同組合 女性部協議会副会長	(R3.6.1～)
	安部 登代美	福岡市東部農業協同組合 理事	(～R3.8.1)
	新野 洋子	福岡市東部農業協同組合 理事	(R3.8.2～)
	笠 文樹	福岡県花卉農業協同組合 代表理事組合長	
	横田 進太	福岡県広域森林組合 副組合長理事	林業分科会長職務代理者
	川嶋 正信	福岡市青年農業者連絡会 会長	(～R3.8.1)
	濱地 宣仲	福岡市青年農業者連絡会 会長	(R3.8.2～)
	新開 玉子	福岡市女性未来農業サポーター 代表	
臨時委員 (林業分科会)	藤本 登留	九州大学大学院農学研究院准教授	(R3.1.29～R3.7.27)
	佐藤 肇	林野庁九州森林管理局福岡森林管理署長	(R3.1.29～R3.7.27)
	馬男木 節	福岡市林業研究グループ監事	(R3.1.29～R3.7.27)
	塚本 要二郎	富士産業株式会社 代表取締役	(R3.1.29～R3.7.27)
	小林 司	福岡中小建設協同組合 ウッドコーディネーター	(R3.1.29～R3.7.27)



 福岡市
農林業総合計画
(令和4年度～令和8年度)

発 行 令和4年3月

福岡市農林水産局総務農林部政策企画課

〒810-8620 福岡市中央区天神一丁目8番1号
TEL : 092-711-4841 FAX : 092-733-5583
E-mail : seisakukikaku.AFFB@city.fukuoka.lg.jp

農林水産局ホームページ
<https://www.city.fukuoka.lg.jp/nousui/>